

**2022 J3 順位表 第27節**

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

注: \*印は消化試合が数字分少ない

1	いわき	60p	+39	57	18	H●	A●
2	鹿児島	56p	+17	47	30	HO	
3	藤枝	55p	+24	48	24	A●	H●
4	松本	54p	+14	35	21	H●	
5	富山	51p	+10	40	30	AO	
6	今治	50p	+14	43	29	H●	A●
7	長野	43p	0	30	30	A△	H△
1*8	愛媛	41p	+7	38	31	HO	A△
9	福島	38p	+2	32	30	AO	H△
10	岐阜	33p	-5	37	42	---	---
11	北九州	29p	-6	28	34	A●	
12	沼津	29p	-10	23	33	A●	
13	鳥取	28p	-7	41	48	HO	A●
14	八戸	28p	-17	23	40	H△	A●
1*15	宮崎	26p	-12	26	38	AO	
16	相模原	23p	-11	26	37	HO	
17	讃岐	20p	-20	20	40	A●	HO
18	YS横浜	18p	-39	18	57	A△	HO

**次回HomeGame**

第30節 vs. アスルクラロ沼津

10/23 (日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

**大酒場 ホームラン**

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

今日もここから  
串かつで一杯

煮込み  
串かつ **珍道中**

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋  
通り

JR 岐阜駅  
北口より  
北西方面へ  
徒歩約 10 分

★  
アミカ

ドミ  
ン

JR  
岐阜駅

today's guest : **カタールレ富山**

2021 J3 13勝7分8敗 勝ち点46: 4位

直近の対決と結果

2022/04/10  
J3 - 5 節 @ 富山

**富山 1-3 岐阜**

山内寛史x2, 窪田稜 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	カタールレ富山
2022/10/02 J3 - 27節@長良川 岐阜 1-1 福島	2022/10/02 J3 - 27節@富山 富山 1-0 相模原
2022/09/25 J3 - 26節@Jスタ いわき 2-1 岐阜	2022/09/25 J3 - 26節@ピカスタ 讃岐 0-4 富山
2022/09/17 J3 - 25節@ブラスタ 八戸 3-1 岐阜	2022/09/17 J3 - 25節@愛鷹 沼津 1-0 富山

●3連敗を喫してしまい、チームの勢いと順位を落とし続けているFC岐阜。10/2(日)第27節・ホーム福島戦は、前半の終わりに#38 藤岡浩介のゴールで先制するが、直後にPKを献上して同点にされてしまう。後半はオープンな展開になるが両チームともに得点は生まれず、1-1のドロー。直近上位との“6ポイントマッチ”だったが、勝点1を分け合う結果となった。この試合を終えて、FC岐阜の順位は変わらず10位。今シーズンは残り7試合で、2位・鹿児島との勝点差が23。つまり今季のJ2昇格の可能性は完全に無くなり、来季もFC岐阜はJ3で戦うことが確定してしまった。しかも、これはJ3を3シーズン戦った中で過去最速のJ3残留確定であり、また(過去2シーズンは6位)過去最悪の成績になろうとしている。直近5試合での戦績も2分3敗・4得点10失点と、攻撃も守備もチグハグで噛み合っていない。返す返すも非常に悔しく、また非常に残念な状況だが、幸か不幸か、今季はまだ7試合残されている。フロントはしっかりと今季の反省と総括を行い、来季はもっと上位の成績を残せる、勝てるチームの編成に早急に着手して欲しい。そしてチームは、来季のチーム編成を視野に入れた若手選手の育成を行いつつ、少なくともホーム戦では、勝利のために最後まで全力を尽くし戦って欲しい。

さて、今節の対戦相手はカタールレ富山だ。昨季は、Jリーグで最多指揮・最多勝利の記録を持つ石崎信弘氏を招へいし、石崎体制の初年度ながら4位。2年目となる今季は、昨季J3得点王の#18川西翔太を岐阜から獲得するなど補強して臨んだが、序盤に連敗して開幕ダッシュに失敗。その後は徐々に調子を上げ、6連勝を達成して前半戦を5位で折り返すが、後半戦は順位がなかなか上がらず、9/17(土)第25節・沼津戦での敗戦をもって、石崎監督は退任。後任監督には、富山で選手生活を終え、直後から富山で指導歴を重ねている小田切道治ヘッドコーチが就任。残り9試合でトップチーム監督として初采配を振るうことになった。そして小田切監督の指揮下で現在は2連勝中、順位は5位。残り7試合で2位・鹿児島との勝点差は5。J2昇格に望みを繋ぐため、今日の富山は勝利に飢えた気迫を見せてくるだろう。対する岐阜は、既に目標を失ってはいるが、ここはホーム・長良川。負けて良い試合などあるはずがない。富山の要注意選手には、まずは現在7ゴールの#9大野耀平を挙げるが、小田切監督になって戦術・スタメン変更がされている。富山は直近2試合で連勝しており、スタメン変更はないだろうから、鍵となるのは前線で司令塔の役割を果たす#10マテウス・レイリアと思われる。我々が気になるのは、昨季まで岐阜に在籍していた#18川西翔太(19~21年)だが、直近2試合はベンチ外。今節の“凱旋”出場は微妙なところだ。

富山との通算対戦成績は、J2での対戦も含めると、岐阜の7勝5分6敗・23得点19失点。直近3シーズンの(J3での)成績は、3勝1分1敗・7得点3失点。昨年のホーム戦・11/7(土)第26節は、互いに均衡を破らせない我慢のサッカーが続いたが、試合終了間際に#22 松津徹也がゴール。これで攻撃に加重をかけた富山の裏をとって岐阜が追加点を挙げ、2-0で勝利した。そして直近での対戦となった4/10(日)第5節・アウェイ戦は、前半に先制されるがATに#9山内寛史のヘッドで同点に。そして後半すぐに今度はCKから#9山内のヘッドで逆転に成功すると、3点目は#9山内が潰れたところで#8 窪田稜が押し込み、3-1で勝利。最近はずっと調子を下げている岐阜だが、前回対戦の内容を思い起こして、今節こそはホームで勝利を挙げて欲しい。

新型コロナは“第7波”がピークアウトし、少し落ち着いた感もある。今節も“声出し応援適用試合”となるが、声出しをする者もしない者も、ガイドラインを忠実に守りつつ、拍手やタオマフを回して最後まで選手たちの背中を押し続け、このホームスタジアム・長良川を盛り上げよう。(ささたく)

**投稿募集!!** [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第27節】岐阜 1-1 福島

●もう10月だというのに、30℃超えのデーゲーム。酷暑の季節に走れなくて成績が失速するのが、すっかり風物詩になってきたから、試合前から嫌な予感しかしなかったんですが……(溜息)。

さてスタメンは……え？僕は#11吉濱遼または#45ンドカ・チャールズが、#38藤岡浩介とで2トップの一角を構成すると予想してたのに、#42柏木陽介が前線にいる！？(驚愕) そりゃ、こないだの試合では前線の選手たちが『シュート撃つ気ないよね？』ってな感じでしたから、ねえ(苦笑)。……んで、やっぱりウチの選手たちの多くは、福島の選手たちにフィジカルで負ける。個人技でなんとかしてるけれど、残念ながらプレーに迫力が欠ける選手が多いような。“J2復帰”という目標がほぼ消失したからか……いや、それ以上に走れないチームになってしまってるのは何故なのか。誰か僕にも分かるように教えてください。

そして、時折いい形で福島のゴール前にボールが送り込まれるけれど、相手に弾き返され……で、相手の守備が整う前に再びボールを素早く入れて攻撃し続けて、相手の体勢を崩せば得点に近づくと僕は思うのだけど、それを潔しとしないのか(苦笑)、わざわざ一呼吸置いて相手に守備を整えさせてから、しかも外でボール回しする選択ばかりする、ウチの選手たちはお人好しなのか、それとも呼吸が続かないのですか……(溜息)。先制点のシーンは、上手く攻撃が繋がって、最後はゴール前で張ってた#38藤岡がワンタッチで押し込んで。これで前半をリードして……と喜びもつかの間、縦パス1本で#17藤谷匠が入り替わられて。前半終了間際で、疲労で足が止まっていたのか集中力が切れてたのか知らないけれど、あの時点で詰んでた。そしてPK献上と失点。あまりに勿体ない失点……というか、こういった安易なミスでの失点が多すぎない？後半になると、お互いにオープンな展開になるけれど、互いに決定力不足で追加点は奪えない。岐阜は、#8窪田稜と#42柏木が負傷退場してから、攻撃の形が見えなくなる。特に、#42柏木の大怪我は非常に残念。今季どころか来季だって復帰できるか危うい。だけど、#42柏木が怪我するぐらいに走り回らないと勝てないチームになっちゃってるのは、なんか変じゃないですか？

後半終了間際になると、チーム全体で足が止まり、福島に決定機が何度も訪れる。福島の決定力不足に助けられた感があって、よく負けなかったとしか……(溜息)。

やっぱり、サッカーは走ることが、フィジカルが一番の基本だということだと思う。昔は岐阜も、そういったチーム作りをしていたハズだ。原点回帰をする時期じゃないだろうか、僕はそう思う。(ささたく)

●最終盤の猛攻も実らず。アレで、なぜ決まらないのか？と歯痒い思いだったが、とりあえず、連敗に終止符を打つドロー。ただ、ソレを告げる笛の音は、同時に今季の目標が断たれる通告となったワケだね。3年目の願いが届かぬどころか、過去最速で夢が叶わぬことになってしまった。オマケに、まだ、7試合あるとはいえ、勝ち点的に前2年の順位を下回る可能性大。逆に言えば、反省や見直し、準備に掛ける時間はタ〜ツプリーとあるってコトだ。フロントもとっくに取り掛かっているだろう。期待はしています。

先制点はイイ攻撃。チャーリー、よくがんばりました。そして、決めたのはコースケ。取っちゃえ>得点王。しかし、そのまま前半を締められないのがね。「もったいない」という言葉を使うのがもったいなくらいの雑なファール。相手に抜かれたのはDFに取って悔しいとは思いますが、ボールにいったワケでも、チャージしたワケでもなく、ただ脚が引っかかっただけのプレーでPK。あんまり過ぎて、もうね。残念すぎた。でも、後半は双方に決定機があった(ウチのが多かったかな?)し、AT前からはなかなか楽しめたよね。「そこで決められないが……」とかは、もういいや。ただ、ドローの代償が……。

柏木はたぶん……だし。クボタンも下手したら今季終了しちゃったかも。守備がないトコに攻撃の飛車角落ちとか。キビシイねえ。しかし、それでも、試合はある。とにかく、あとは目の前の試合で勝利を勝ち取るだけ。がんばって!。あ、あと、主審。アレはちょっと。そんなに早いパスじゃなかったよ?避けてはいたけど、避けるにしても避け方があるんじゃないかなあ(苦笑)。(ぐん)

●序盤から見せられたのは「チームとしてコンビネーションをまったく練りこんでいない」サッカーだった。そりゃ、選手の皆さんはJリーガーなんですから、即興でもあの程度の連携は取れるでしょう。でも、そこまで。先制点は左深くにチャーリーが攻め込んで横向きの速いクロスを入れてプリンス藤岡が合わせたものだけど、その前にもチャーリーが深く入って来たシーンは2回連続してあった。その時は相手ゴール前にかぶせてくるFWはいなかった。結局は、選手がその能力で「その場」のサッカーをやっているに過ぎない。そりゃ、たしかにいまから練度を上げてもしようがないし、来季は岐阜にいないのなら……あ、言っちゃったね(苦笑)というくらいの枯れっぷりだった。試合自体は、特に終盤にワクワクのチャンスもドキドキのピンチもあって「エンタメ」としてはギリギリ及第点だったかしら。で、このドロー決着で岐阜の来季J2はなくなった。実は、「まだ可能性があった」ってことの方が驚きです。(吉田鑄造)